

九州歴史資料館 学校向け出前講座

九州歴史資料館では福岡県内の小・中学校および高等学校を対象にした学習支援事業（出前講座）を実施しています。

講座のテーマおよび内容は次のとおりです。社会科の授業はもちろん、総合的な学習の時間などにおいても、積極的にご活用ください。

番号	テーマ	内容	対象		
			小	中	高
1	学芸員の仕事	学芸員ってどんなことをするの？学芸員になったきっかけは？学芸員になるためには？そんな疑問に答えながら、文化財を守る・伝える仕事についてお話します。 ※学芸員の専門分野（古代史、美術工芸、考古学、近代史、保存科学）によって、お話しする内容が異なります。	○	○	○
2	文化財発掘技師の仕事	文化財発掘技師はどんな仕事をしているか？どうしたらなれるの？なんのために発掘しているの？そんな疑問にお答えします。	○	○	○
3	考古学の手法	出土資料の年代が、どうやってわかるのかについて、様々な方法を紹介します。 奈良時代や江戸時代の瓦の拓本体験も可能です。	○	○	○
4	縄文時代から弥生時代へ —暮らしの移り変わり	縄文時代から弥生時代にかけての人々の生活の移り変わりについて紹介します。	○	○	○
5	土器 縄文土器・弥生土器 土師器・須恵器 陶磁器	縄文時代から中世に使われた焼き物の移り変わりについて紹介します。		○	○
6	古代大宰府について	古代（飛鳥・奈良・平安時代）の大宰府に関わる歴史、ゆかりの人物などについて、お話しします。（例）大宰府の成立、斉明天皇と朝倉宮、水城と大野城の造営、律令制地方支配の仕組みなど。	○	○	○
7	木簡と墨書土器について	大宰府を中心とする木簡、墨書土器など出土文字資料の世界と、その研究からみえる古代社会について、お話しします。	○	○	○
8	筑紫君磐井の乱	古代の日本列島統一過程での最大の内乱とも言われる筑紫君磐井の乱の背景と結果についてお話します。		○	○

9	記紀神話について	記紀神話のあらすじを解説し、『古事記』『日本書紀』の成り立ちについてお話しします。	○	○	○
10	大宰府と万葉集	万葉集にみえる福岡ゆかりの和歌や大伴旅人・家持父子の話を紹介します。	○	○	○
11	大宰府と菅原道真(天神さま)	菅原道真の生涯、太宰府天満宮と菅原道真の関係、福岡に伝わる天神伝承について紹介します。	○	○	○
12	仏像の見かた	奈良や京都に行かなくても、意外と身近な所に、各地域の個性的な歴史の証人である古仏が存在しています。そんな古仏を紹介し、その見かたをお話しします。	○	○	○
13	大陸から渡来した造形遺品	大陸との交流の最大の窓口であった九州には、他の地方には見られないような、大陸から渡来した仏像や石塔が多く存在しています。それらを通して、九州の歴史や文化の特質についてお話しします。	○	○	○
14	大宰府式鬼瓦について	古代九州を統轄した役所である「大宰府」でだけ使用された大宰府式鬼瓦は、「大宰府」のシンボルであり、日本の鬼瓦の最高傑作です。この大宰府式鬼瓦を通して、「大宰府」や古代九州のあり方についてお話しします。	○	○	○
15	福岡県の城	古代から近世に掛けて築かれた福岡県内のお城について紹介します。	要相談	○	○
16	福岡県の近代	福岡県の近代(特に都市発展、鉄道建設、製鉄と炭鉱の盛衰)について、地図と絵葉書などから紹介します。		○	○

○担当学芸員等の業務の都合等で実施できない場合もありますので、予めご了承ください。

○依頼の内容によっては各市町村の文化財担当職員をご紹介します場合もあります。

○今後、実施できるテーマを増やしていく予定です。ここに無いテーマについては広報普及班までお問い合わせください。

【活用の方法について】

1 申込方法

①希望日の1ヶ月前までに、広報普及班までお電話にてご連絡ください。

※業務の都合で実施できない場合もありますので、予めご了承ください。

②日程やテーマが決まりましたら、「出前講座」申込書を郵送でご提出ください。

③実施に向けての詳しい打ち合わせを行います。

④実施後のアンケートへのご協力もお願いいたします。

2 経費 無料です。講師派遣の費用(謝礼、交通費等)は必要ありません。

【問い合わせ先】

九州歴史資料館 学芸調査室 広報普及班

〒838-0106 福岡県小郡市三沢5208-3

TEL 0942-75-9501(学芸調査室直通) / FAX 0942-75-7834